

SPS-2301・QSS-2301・2302・2701 タンク液作成の準備/調液方法
【MPC仕様共通】

1. 薬品の準備

処理薬品 (MPC-22)	P-1R (CD)	P-2R (BF)	P-3R (STB)	P-1S
必要数量	1箱	1箱	1箱	—
使用本数	1本	2本	5本	3本

2. 調液割合

母液タンク容量		P-1 (CD)	P-2 (BF)	P-3 (STB)
		22.6 L	22.2 L	47.2 L
調液割合	補充液	9.1 L	13.3 L	47.2 L
	スターター	2,486 ml	—	—
	水	11.1 L	8.9 L	—

3. タンク液の調液

- * 各母液タンクから処理ラックを抜き出す時、液が他の母液タンクに入らないよう十分注意してください。
- * 調液に使用する容器(バケツ)は、CD用とその他用を分けてください。

- P-1
(CD)
1. 容量 20L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 8L 用意します。
 2. P-1R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-1R 補充液)を CDサブタンクから 9.1L 注入します。
残った液は補充タンクに入れてください。(約 0.9L)
 4. P-1S (スターター)2,486mLを CDサブタンクから注入します。
 5. 15~40℃ の水をオーバーフローするまで CDサブタンクから注入します。
(約 11.1L)

- P-2
(BF)
1. 容量 20L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 10L 用意します。
 2. P-2R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-2R 補充液)を BFサブタンクから 13.3L 注入します。
残った液は補充タンクに入れてください。(約 6.7L)
 4. 15~40℃ の水をオーバーフローするまで BFサブタンクから注入します。
(約 8.9L)

- P-3 (STB)
1. 容量 20L 以上の清潔な容器に 15～40℃ の水を 19.8L 用意します。
 2. P-3R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-3R 補充液)20L を 各STBサブタンクから全量注入します。
 4. 同じ容器で、1. 2. 3. を繰り返し、計 40L 注入します。
 5. 続けて同じ容器に 15～40℃ の水を 9.9L 用意します。
 6. P-3R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 7. 6. で作った液(P-3R 補充液)を 各STBサブタンクからオーバーフローするまで注入します。残った液は補充タンクに入れてください。(約 2.8 L)

*サブタンクとは、ケミカルフィルターが装着されている箇所を指します。
ケミカルフィルターを抜き、そこから薬液を注入してください。

【 参考 】 補充液 作成方法

処理薬品名称	水 (15～40℃)	薬品	仕上り量
MPC-22 P-1R (CD)	8 L	P-1R 1個	10 L
MPC-22 P-2R (BF)	5 L	P-2R1個	10 L
MPC-22 P-3R (STB)	9.9 L	P-3R 1個	10 L

【 参考 】 1 L あたりのタンク液 調液割合

処理薬品名称	補充液	スターター	水	仕上り量
MPC-22 P-1 (CD)	400 mL	110 mL	490 mL	1 L
MPC-22 P-2 (BF)	600 mL	—	400 mL	1 L
MPC-22 P-3 (STB)	1000 mL	—	—	1 L